



KAWASAKI TAKATSU R.C.

第2590地区第3グループ 川崎高津ロータリークラブ

2010~2011

事務局：〒213-0041川崎市高津区溝口2-14-1むらたビル3F
 例会場：ホテルKSP TEL 044-819-2211
 例会日：毎週木曜日 12:30 / 毎月第4週 18:00
 会長：三富 末雄
 幹事：相馬 元



R.I.会長
Ray
Klingensmith

クラブ年度テーマ

『地域に根ざした信頼されるロータリーを目指して』

点鐘・開会宣言・歌唱

三富 末雄 会長 「それでこそロータリー」

お客様

藤本武様(神奈川県立高津養護学校校長)

報告

会長報告

* 2010-11年度国際ロータリー第2590地区地区大会参加促進訪問のお知らせが届いております。本年度10月29日30日に神奈川県民ホールにて開催される地区大会に向けて、本クラブの川崎北RCより担当者が大会のご案内にお見えになります。

訪問日：7月22日(木)

訪問者：地区大会SAA 松波登様
地区大会副SAA 武田信平様

* 地区大会「記念チャリティゴルフ大会」の案内が届いております。

日時：9月13日(月)8:00スタート 場所：戸塚カントリー倶楽部

参加費：10,000円 申込締切：8月10日(日)

* 7月14日(水)第1回 会長・幹事会に出席しました。

* 第37回高津区民祭実行委員会より開会式への案内状が届いております。

日時：7月25日(日)13:15～

場所：川崎市高津スポーツセンター

* 高津区民祭実行委員会(拡大会議)の案内が届いております。

日時：7月15日(木)18:30～

場所：大山街道ふるさと館2階イベントホール

幹事報告

近隣クラブ 例会変更のお知らせ

* 川崎中央RC:7月19日(月)休会(休日 海の日)

7月26日(月)18:00～ 納涼家族会 東京湾ディナークルーズ

* 川崎麻生RC:7月30日(金)18:00～

納涼家族会 琴平神社 参集殿

* 横浜東RC:8月6日(金)18:00～

納涼家族会 初横浜ビアレック

* 川崎高津南RC:8月9日(月)を8日(日)に変更

移動例会 橋ふるさと祭に参加

* 川崎とどろきRC:8月9日(月)休会

* 川崎中RC:8月10日(日)休会(定款細則により)

* 新川崎RC:8月11日(水)休会(定款細則により)

* 川崎多摩RC:8月12日(木)休会

* 川崎稲生RC:8月13日(金)休会

* 川崎西RC:8月13日(金)休会

* 川崎幸RC:8月13日(金)休会

例会時間変更のお知らせ 平成22年7月より変更

・川崎マリノアRC:毎月第3週

夜間例会(18:30～) 通常例会(12:30～)に変更

近隣クラブより会報が惠送されております。お目通し

下さい。(順不同)

川崎北RC 川崎中原RC 川崎中RC

川崎南RC 川崎轟RC 新川崎RC

諸事お知らせ

* 次週7月22日(木)はガバナ公式訪問です。(夜間例会)

会員の皆様全員のご出席をお願い致します。

また、クールビズ期間ではありますが、初対面、上着の着用を

お願い致します。

第3回 例会記録

通算：第1200号

例会日：平成22年7月15日

発行日：平成22年7月22日

今週のプログラム：「卓話」

次回のプログラム：「ガバナ公式訪問」

ニコニコネーションメッセージ

*RC会員(敬称略、順不同)

三富末雄 藤本校長先生、卓話楽しみにしております。よろしくお願ひします。

相馬 元 藤本校長先生ようこそいらっしゃいました。本日の卓話楽しみにしています。

	件	合計	累計	目標額	達成率
ロータリー財団	10	10,000	38,000	300,000	12.67%
米山奨学会	9	9,000	37,000	540,000	6.85%
ニコニコBOX	10	10,000	74,000	1,000,000	7.40%
フルトリーBOX	11	11,000	61,000	540,000	11.30%

	会員数	出席義務者	欠席数	出席率	MU	前々回修正
本日	27	25	9	64.00%		
前々回	27	25	3	7月1日分	2	96.00%

クラブ会報委員会

福嶋 徹委員長 茅根正之副委員長

鈴木良一委員 大橋健治委員

編集担当：鈴木良一



「卓話」 藤本 武 様

(神奈川県立高津養護学校校長)

神奈川県立高津養護学校校長の藤本武と申します。川崎高津R-グループの皆様には20年以上も前からボランティアにご協力頂き本当にありがとうございます。

高津養護学校は神奈川県立です。地域の方にはなかなか馴染が薄くて川崎市立の養護学校と間違えられることが多いので、事あるごとに私どもの養護学校を認識して頂きたいと思っています。

全国的には特別支援学校と呼ばれるようになっていますが、神奈川県では財政難のため未だに養護学校と呼んでいます。これは名称を変更すると看板の書き換えを始め全ての印刷物等の変更をしなければならないからです。

高津養護学校は色々な障害を持っている子供達の中でも知的障害の子供達のための小・中・高校が一緒になっており、186名の生徒が通っています。教室が足りなくなり生田東高校に教室を5つ借りて分教室として今年から開校しています。来年度は更に川崎北高校に開校する予定です。

自閉症はよく耳にしていると思いますが、びっくりするほど記憶力の良い子供もいます。何年何月は何曜日かを言えたり、日本全国の駅名を言えたり、新幹線・飛行機の型・種類を言えたりします。

私は校長になって4年になります。以前は社員をしていました。そこで人を取りまとめる仕事を15年間していました。1997年に横浜市で国際IYF学会が開かれることになりました。当時の横浜市長は障害のある方に対して非常に理解があり、積極的に取り組んで行くということで、私の勤務していた社員でも20名位の障害者を引き受けました。その時、障害のある子供達は対応が一人ひとり違わなければならないと感じました。

その体験から、利益追求の仕事ではなく次の世代を荷う仕事をしたいと思っていたところ、神奈川県で民間人校長を募集していることを知り、応募し、神奈川県に入庁しました。そして配属が高津養護学校ということになりました。

そこで上司にその話をすると「それはすごく縁のある話だ。私の甥の森正一君が川崎高津R-グループにいるから困ったことがあったらいつでも相談しなさい」と言って下さったので非常に勇気付けられました。

私は現場を一番重要視している人間ですので、学校でも毎朝校門に立ち子供達の様子を見たり、時間があれば教室や先生の様子を見たりしています。父兄の方で校門まで送って下さる方とは立ち話で色々な様子を聞くことが出来ます。私は立ち話が現場で一番本音を聞くことが出来ると思っており、校長室での話は最後の時だと思っています。ですから私は現場で本音の話が出来るような環境を作っています。すると先生達は校長が子供達と仲良くやってる姿を見て一所懸命やってくれるようになりました。

学校に入る前は公務員・教員に対する批判的な記事が多くあり、不安がありました。実際学校に行ってみると私の年齢が46歳で教員130名の平均年齢が48歳で50歳代の方が非常に多く、どのようにやっていこうか不安に感じましたが、接してみると皆すごく真面目で、なぜ県民の人には素直に感じられないのか不思議に思いました。そこで私は養護学校のことだけでなく県職員の本当の姿を少しでも伝えていければ良いなあと感じました。また、地域の大切さでは、周りが川崎市立の建物が殆どで県との交流が無いので、私が積極的に小中学校に行ったりして養護学校に対する正しい理解・啓発を図って行くようにしています。

それから生徒の就労問題があります。卒業後の知的障害者は非常に厳しく、企業に就職できる人は2割程度で、残り8割は福祉的な施設に行くこととなります。

そして採用試験ではなく2週間程度の実習に行き、能力があるかどうかを見極めて就労させます。現在は法律で1.8%は障害者を雇用しなければいけなくなっており、以前よりは大幅就職しやすくなっていますが、希望者全員は就労できない状況にあります。本校は就労できない重い子にも体験をさせてあげたいと思っていますので、機会があれば皆様の会社でも宜しくお願い致します。現在行なっている仕事内容は清掃業務とか社内郵便が主です。

川崎市内では少子化で子供は減っておりますが、養護学校は障害のある子供が増えています。何故かと言うと高校への進学率は98%ですが養護学校は進学を希望すれば100%進学が出来ます。そうすると全日制に入れないう子供を保護者と先生が相談して養護学校に入れることを考えているようです。これは本人が一番悩んでいるようです。現実面からみると養護学校は生徒2人に1人の先生が着きます。人件費+交通費・給食費など児童1人に1000万円のお金が掛かっております。この辺も考えて頂きたいと思っています。

今後ともご支援をよろしくお願い致します。

